

活動計画書 / 活動実施計画書

団体名： 大杉まちづくり会

1 組織の現況、課題

（現況）

- ・ 「大杉まちづくり会」は将来にわたり住み続けたいまちを作ることが目的として立ち上げられた団体である。地域に住んでいる子どもたちが大人になっても誇れるまちづくりをすることで地域の活性化を目指すものである。
- ・ 本地域は江戸時代、名古屋城の鬼門にあたると言われたことにふさわしく、故事来歴に富んでいる。虚無僧の首を祀った首塚社、尼ヶ坂・坊ヶ坂の辻斬りの出没や町娘の悲恋の伝承にまつわる亡霊の彷徨、片山神社の樹上での天狗の太鼓打ち等、さらには名僧や著名な文化人が住んでいたなど色々な逸話、妖怪伝説が残る地域である。
- ・ 令和3年度、北区役所福祉課等が大杉学区で開催した、地域住民が自分の地域の将来の姿を考える「健康つながりまちカルテワークショップ」の中から出たアイデアを契機として、学区内にある「妖怪伝説」に着目した事業を開催することとした。
- ・ 令和4年度、普光寺で「首塚社遷座式」、「妖怪落語会」、杉の宮神社で「歴史講演会」を開催した。参加者には好評を博し、次回開催が期待された。

（課題）

- ・ 地域において高齢化が進み、就職・進学等で流出した若者のUターンがみられない。若者たちが自分たちの育った地域で子育てをしたいと思える地域づくりをする。
- ・ 安心・安全で快適なまちづくりにおける地域活動の担い手及び参加者は、固定化、高齢化している。地域内住民の世代間のコミュニケーションを豊かにする。
- ・ 課題解決のために地域内の各種団体の連携による地域の交流を深める。

2 助成を受けようとする活動の目的

- チラシ作成および配布とイベント開催をとおしたPR活動をおこなう。
- PR活動によって、当団体への関心を持ってもらうとともに地域への誇りと愛着を醸成して地域住民同士の交流を促進する。
- PR活動を軸に、まちづくり活動の参加者を増やし、将来にわたって活動を継続する担い手を育成する。
- 「妖怪伝説」という大人から子どもまで興味を持ちやすいテーマをはじめ地域の歴史や魅力を伝えるイベントを開催することで地域住民同士の交流を深め、地域への誇りと愛着を高める。

3 活動による今年度の成果目標

- 歴史講演会、まち歩き、落語会にそれぞれの参加者の満足した割合、参加後の地域への愛着度が高まったとの回答率を70%とする。
- ※ 開催後、参加者に満足度、次回参加希望、地元への愛着度の増加割合といった項目のアンケートをとる。その項目の中からあらかじめ指標を決めておき、その目標値を設定しておく。

4 助成を受けようとする今年度の活動内容

<p>(1) <u>マップ入り案内チラシ、ロゴマーク等の作成</u> 学区内の妖怪出現スポット、故事来歴の場所、休憩場所等を入れたチラシを作成する。名古屋造形大学に依頼作成した複数のロゴマークの中から一つを住民投票で決定し当会の公式ロゴマークとする。</p> <p>(2) <u>チラシ作成のための意見の収集</u> 以下のイベントにおいてアンケート調査を実施する。又、チラシ作成過程で住民の意見を反映すべく子育て世代を含めた住民も参加する作成会議を開く。 ア <u>歴史講演会・出前講座「学区内の歴史を知ろう」</u> (年2回開催予定) イ <u>まち歩き「大杉まち歩き」</u> (年2回開催予定) ウ <u>落語会「おおすぎ落語会」</u> (年2回開催予定)</p> <p>(3) <u>チラシの配布</u> 作成した(1)のチラシを各事業や地元の商店、公所等で配布する</p>
--

5 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

<ul style="list-style-type: none"> ・学区連絡協議会 (町内会・自治会、子ども会、民生委員児童委員協議会等各種団体) ……事業での協力、PR活動、人員や資金の支援 ・地域内の寺社(普光寺、杉の宮) ……落語会、歴史講演会の会場の提供 ・SAKUMACHI 商店街等商店 ……妖怪商品開発への協力要請 ・地域に近い小中学校・高校・大学 ……ロゴマーク制作協力、PR活動 ・区役所地域力推進室 ……連携して後方支援
--

6 今年度の活動内容のスケジュール

年 月	活 動 内 容
令和5年4月	事業の企画づくり、各事業の部会立ち上げ、関係機関との調整
5月	<u>マップ入り案内チラシ、ロゴマーク等の作成開始</u>
6月	第2回おおすぎ落語会(第2回首塚遷座記念妖怪落語会)開催
8月	歴史講演会・出前講座の開催(杉の宮神社、大杉小ワライト)
11月	第1回まち歩き開催(一般向け・親子向け)
12月	<u>マップ入り案内チラシ、ロゴマーク等の完成→配布</u>
令和6年1月	第3回おおすぎ落語会(第3回首塚遷座記念妖怪落語会)開催
3月	第2回まち歩き開催
3月	成果・課題の振り返り、次年度の方針検討

チラシの作成の過程では関連イベントを通じて地域の声、素材を集める。また、編集を通して活動の強調点を高める。

7 活動後、次年度以降の展望

<p>○ 活動のさらなる周知と若者の参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の児童生徒学生による妖怪キャラクターコンクールを実施し、その中から妖怪キャラクターを選定し、当会の公式キャラクターとする。公式キャラクターはロゴマークとともに見守りや清掃、防犯等地域活動に活用し、地域の一体感の醸成に役立つ。又、地元の商店等と連携し、妖怪にまつわる商品の開発をおこない、食の分野からも街の魅力を発信する。将来的には妖怪フェスティバル開催も視野に入れる。 ・今年度実施するアンケート調査をもとに、落語会や講座、街歩きなどのイベントをさらに魅力あるものにし、子育て世代を含め全世代による活動の運営参加を目指す。
--

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、2ページを超えないように作成してください。
 ※ 用紙の大きさは日本産業規格A4とする。

※ この様式は公開されます。